

青嵐（あおあらし）とは、「初夏の木々の葉をゆすって吹くやや強い風」、「青々とした山の気」などの意味がある言葉です。逗葉高校を吹き抜けるさわやかな風と、生徒の皆さんのたくましさをイメージしました。第8回は、始業式でのお話に関連した内容です。

逗葉高校の皆さん、新年明けましておめでとうございます。3年生はいよいよ高校生活が残りわずかとなりました。是非、有終の美を飾れるよう、最後までしっかりと自分を磨いてください。2年生は4月から最上級生になります。名実共に逗葉高校の「顔」となる覚悟と自覚を持って、リーダーシップを発揮してください。1年生は、4月から先輩です。昨年の4月を思い起こして、自分に厳しく周囲に優しい、理想の先輩を目指してください。

さて、12月は終わりの月でしたが、1月は始まりの月ですね。年賀状などでは歳の初めという表現もあります。「始」には「継続する事柄の出発点」、「初」には「ある期間や時間の最初の部分」という意味があるそうです。

1月は、「一年の初めに新たなことを始める」のにふさわしい時期ということになるのでしょうか。

ところで、私は「何かを始める」つまり「行動を開始する」ために大切なことは「決める」ことだと思います。そして、「決める」には2つの面があると思っています。一つは、今がどうなのかを分析し理解すること。もう一つは、今を踏まえて未来に向けてどうしたいのか、何ができるのかを計画することです。

言い換えれば「決める」という行為は、経験や現状から「判断」し、それを基に、未来に向けて、理想を実現するための「行動」を「決断」することだと思います。

私たちは「判断」によって、状況を整理し、未来への選択肢の中のどれを選ぶか「決断」をして、一步を踏み出すのです。この二つの「決める」は、どちらも重要で、「判断」を誤れば、間違った「決断」をしてしまうかもしれませんし、正しい「判断」ができて、「決断」ができなければ未来に向けて進むことが、なかなかできません。

でも、この二つの「決める」が易々とできるという人は、それほど多くはないのではないのでしょうか？特に「決断」は、未来への意思決定であり、「行動」がセットにならなければいけないので、失敗を心配して優柔不断になってしまうのも、無理はないのかもしれませんが。それでも、私たちは「決める」という行為から逃げることはできません。

人生は選択の連続だとは言いますが、私たちは、小さなことではコンビニのおにぎりの具材から大きなことでは将来の進路などを選択するために、日々悩んで「決めて」いるのです。だから、私たちは主体的に人生を「生きる」力として、「判断」力や「決断」力をしっかりと伸ばしていかなければいけません。

どんな行為にも、それを鍛えるのに適したトレーニングがあります。「判断」力や「決断」力を鍛えるためにも、やはりトレーニングは有効です。

例えば、毎日の出来事をバラして Good な要素と Bad な要素に分け、それぞれの原因を見つける。目先にとらわれず、ゴールを想定して現在の状況との比較をする。ネット上の情報等を簡単に真に受けず、一旦は保留する。こんな姿勢が「判断」力を育ててくれます。

例えば、小さなことでも「…でいいや」ではなく「…がいいね」と意識して選ぶ。直感的に選んだときも、そのときの感覚を確認する。なかなか選べないときは、それぞれの選択肢の良いところを加算して比べる。消去法によって仕方なく決めたとしても、「主体的にいやなものは消去して、残ったものを選んだ」と自己評価する。こんな姿勢が「決断」力を育ててくれます。

加えて意識しておいてほしいことは、失敗を恐れるあまり、硬直した完璧主義者になってはダメということです。過去のミスをいつまでも引きずるのも NG です。

人生は選択の連続で、できれば間違った「判断」や「決断」はしたくないけれど、ふつう、人は一度には一つずつしか選べないので、失敗することも、普通にあることなのです。つまり、実は「判断」も「決断」もその先の「行動」も、結構やり直しがきくのです。

毎日「生きている」ことを怖がらないように、「決める」ことを必要以上に怖がる必要はありません。

私は、皆さんに、きちんと「決める」ことのできる人になって、主体的に人生を「生きて」もらいたいと思っていますし、皆さんにはできると期待しています。

私自身も、そうでありたいと思っているし、そうなるよう努めているつもりです。失敗もありますが、そのときの「判断」や「決断」を人のせいにはしたくないし、やり直すときには、次はもっと良くできると気持ちを切り替えて、新しく「決める」ようにしています。

それから、優柔不断を許す部分をわざと残しておくのもアリかな。私は、ファミレスとかでメニュー選ぶの、かなり苦手だったりします。料理の写真を見れば見るほど、どれか一つを選ぶなんて、もう無理！です。結果、本日のお勧めメニューとなるわけですよ。

でも、小さな「逃げ」を OK にしておくことで、ここぞ！というときの「判断」や「決断」の大切さを、むしろ意識できたりするから不思議です。「これはファミレスのメニュー選びとは違うんだぞ！」ってね。

最後になりましたが、始業式に皆さんの元気な姿を見ることができ、明るい声を聞くことができたことに感謝します。

今年一年、最終学期とそれに続く新年度、皆さんの毎日が「やる気！元気！」に満ちたものとなるよう心から願っています。

平成 29 年 1 月 13 日  
校長 大貫 晶子